

News Letter

令和4年度多面的機能発揮促進事業 中国四国農政局長表彰優秀賞受賞

島根県益田市
なでしこ

中国四国農政局は、水路や農道等の地域資源の保安全管理など、農業の有する多面的機能の発揮を促進する活動を支援する事業に取り組まれている組織等を対象に、優良な取組について表彰を実施しています。令和4年度は、最優秀賞2組織、優秀賞7組織が受賞されました。

令和5年2月28日（火）、島根県拠点は、優秀賞を受賞された「なでしこ」へ表彰状を授与し、意見交換を行いました。

「なでしこ」が活動されているのは、島根県益田市の南東に位置する人口300人あまりの山間農業地域（真砂地区）です。その地域の担い手である女性3人が中心となり、女性の力を活かした地域の活性化を図る取組が評価され、受賞の運びとなりました。

特に、「地域の保育園児や中学生との楽しい農業体験（堆肥づくりやサツマイモの収穫）の場を提供されるなど教育機関との連携を図った活動」や「フェイスブックを通じた広報活動（水路の泥上げ等の保全活動や子供たちが農業体験している笑顔あふれる写真の投稿）が評価されました。

意見交換では、「有機栽培をしている水田で子供たちと生き物調査を行ったところ、思ったよりもたくさんの生き物がいることがわかり、有機栽培や農薬を減らすことを心掛けていた成果を実感している。」、「引き続き保育園から高校生まで幅広い若者に、農業や自然を体験できる活動を続けていきたい。」、「フェイスブックでの楽しい写真を見て、他の地域から参加希望が来るなど「なでしこ」の活動の手ごたえを実感している。」、「農業体験を通じて、将来この地区で農業を志す若者が現れることを期待している。」との話を伺いました。

意見交換を通じ、「なでしこ」の活動が引き続き地域で暮らす人々に役立ち、真砂地区はこれからも笑顔あふれる地区でありつづけると確信しました。



なでしこのメンバー（写真左3人）と渡部地方参事官



なでしこのメンバーとの意見交換の様子

第52回日本農業大賞「個人経営の部」で大賞を受賞された ライスフィールド有限会社の吉岡代表と意見交換を行いました。

令和5年3月2日（木）、松江市のライスフィールド有限会社において、同社吉岡雅裕代表取締役と中国四国農政局山本徹弥局長が、将来の食・農林水産業の在り方について意見交換を行いました。

冒頭、全国農業協同組合中央会などが主催する第52回日本農業大賞「個人経営の部」大賞受賞に対し、山本局長から祝辞が述べられました。



日本農業大賞を受賞された吉岡代表取締役

日本農業大賞は、経営や技術の改善に意欲的で地域社会の発展に貢献している農業者を顕彰するもので、同社の経営理念に則った取組が評価されたということです。

意見交換では、山本局長から農林水産業を取り巻く情勢を説明した後、吉岡代表取締役から施設整備への支援、スマート農業の取組、担い手等について、意見・要望をいただきました。

その後、吉岡代表取締役の案内で、令和2年度に農林水産省の事業を活用して建設された乾燥調製施設を見学しました。



乾燥調製施設について説明をする
吉岡代表取締役（写真左）

ユリ科の希少植物「イズモコバイモ」

希少植物の「イズモコバイモ」は、ユリ科の多年草で3月上旬から4月上旬にかけて白い花を咲かせますが、環境省のレッドリストで絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）に分類され島根県だけに自生しています。

全国でも稀な群生地が出雲市佐田町と邑智郡川本町にあり、出雲市の天然記念物にも指定されています。

撮影場所：出雲市佐田町
撮影日：令和5年3月15日



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 島根県拠点

〒690-0001 松江市東朝日町192

TEL (0852)24-7311(内線240) <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>